

# 松蔭浩之



まつかげひろゆき：  
アーティスト。1965  
年福岡生まれ。88  
年大阪芸術大学卒  
業。個展を中心に  
国内外で活動。写真、グラフィッ  
クデザイン、ライターなど幅広く手  
掛け。アート集団「昭和40年会」  
宇治野宗輝とのロック・デュオ「ゴ  
ージャラス」での音楽活動でも知  
られる。



『Sta(部分)』 Hiroyuki Matsukage 2000

## ホシに願いを

この春の流行はまたしても星柄。サッポロ黒ラベルやハイネケン、セブンスター、ロックスター矢沢永吉、そして昨年9月のテロ事件以降、過剰なまでに目にする星条旗にも燦然と輝く五角形の星< /五芒星>をあしらったファッションが、有名無名のブランド構わず、華のように店頭と並んでいる。5年程前に大々的にリバイバルして以来、何度となく繰り返されるにつれ、そのサイクルがどんどんと狭まっているように思えるこの星柄は、もはや好き嫌いを問わず、ひとつの定番アイテムといってもいいかも知れない。オレ自身、作品の中に、グラフィックやロゴ/タイポグラフィに、またステージ上で着る衣装にと、ことあるごと星を引用してきただけに、この現象はうれしいやら悔しいやらちょっと複雑な心境だ。実際2年前に発表し、現在世界中を巡回して話題になっているオレの代表作ともいえる作品の名前が、ズバリ「STAR」だから、いかにオレが星好きかがわかるだろう。

「何故、ホシをほしがめるのか？」

シャレにもならないフレーズだが、連載第一回は、そこからへんについて考察を巡らせてみることにしよう。「21世紀型宇宙ブーム」「流星群」「80'sリバイバル」等の表層的な見解はさておき、まずは五角形を基にしたシンプルなその形。なんたって相当古くから認知されプロテクトフリーで使用され続けている人気のシンボルマークだから、作者やその起源を辿ることは難しそう。たぶん数学的見地から生まれたものではないか？ もしくは、五つのギザギザが、キラキラと夜空に輝くシャイニングスターのきらめきを図式化したものだと考えて間違いはないだろう。でもそれだけなら、ギザギザが四つのもので六つのもので(ダビデの星)でもいい。事実、レンズ越しに光源を見た場合には、光の放射が上下左右のクロスを軸に広がって偶数だ。ところが、やはり星といえば 印。各国の旗には国家の象徴として、KISSのポール・スタンレーの顔にはロックスターの印として、問題の雪印の真ん中にも の形。万国共通で 印すなわち、星/スターと伝わる。

有名アートディレクターのGさんは、「星印みたいにシンプルで力強く、おまけにカワイくもあって、強烈に象徴的なデザインはなかなかない。星印に勝るシンボルを産み出すのが僕の永遠のテーマなんだよね」と、ずいぶんを持ち上げる。オレにしてもいわずもがなで、もっと突っ

込むならそれは、「人間の形を図式化した」形だと思う。頭と両手両足の五つを、ほぼヘソを中心に放射状に広げた姿勢を簡略化したものだと思ってみる。いわば我々の身体を見事にシンボライズした究極のフォルム、ひとつのポートレートとして完成されたものとも考えるのだ。ゆえに単なるクールな幾何学形体というよりはむしろ、「キャラクター」として存在しているから親近感が湧くのだ(とは言い過ぎかな)。ちなみに、似たフォルムをもつのに、漢字の“大”の字がある。大きな山や大人を表すこのチャイニーズキャラクターの、ドカッと仁王立ちしていて、なおかつ開いている感じ。魔除けや守護の形としても崇拝されていることからもうかがえるように、それがまさに、前述した永ちゃんやポール・スタンレーやデヴィッド・ボウイー、さらには、ジーザスクライスト< スーパースター>などの、多くの人が拠りどころとするビッグな“スター”の存在と相似する。調子良く続けると、犯罪者を追う刑事は、犯人を「ホシ」と呼ぶ。この手の映画やドラマでは、たいがい犯人役をアランドロンやアル・パチーノなど男前のスターが演じる。そういう点から星は、「主役」のシンボルだということも見えてくる。

ゆえに 印は、オシャレに敏感な少女たちにも、マッチョな男心にもグサッと刺さってくるのである。

古今東西を問わず歌い継がれるスタンダードナンバー、もしくは量産されるポップスの中で、「星に願いを」「スターダスト」「星影のワルツ」など、星にまつわる名曲が無数に存在することからもうかがえるように、我々が星に託す願いや思いははかり知れない。また、「人は死んだら星になる」という定説がエジプトも見逃せないだろう。つまり、「いつでもご先祖さまが夜空から見守ってくれている」という発想こそ、人間のもろさ、はかなさ、情けなさ、可笑しさ、そして美しさを象徴している。無論、オレが星をテーマに制作を展開していることすべては、人間の生に執着するがゆえの死への恐怖と憧憬、はたまたスターや強者を求めて止まない人間の思考回路についての考察と見解なのである。

不況に戦争に汚職、さらにはあらゆる価値観がひっくりかえろうとしている21世紀のスタートラインという今に、またしても が没落しているというこの現実を、あなたなりに考えてみるのも面白いのではないだろうか。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)